団体名：慶應義塾大学　和田研究会

団体概要

団体概要	サステナブルなキャンパスライフの実現に向けて主に**5つの活動**に取り組んでいます。湘南藤沢キャンパスを実践の場とし課題の背景・原因を分析、関係者の合意形成を経て、解決策を実装していきます。		
メンバー構成	慶應義塾大学SFCの学生約20名（1〜4年）		
設立年	2024年4月〜	活動エリア	慶應SFCキャンパス

①資源循環

取組：金属製ゴミステーションの導入
背景：SFCで排出される廃棄物の再利用率は低下傾向であり、他キャンパスと比較しても低水準。
目的：キャンパス内での分別率を高め、資源化を促進する。
効果：分別率向上施策の結果、2024年度は各分別項目で大幅な分別率の改善が確認された。
展望：次年度はボトルtoボトルの導入など、ごみ回収後の資源化にも取り組み予定。

~2024.2 → 2024.3（完全移行 2024.7） → 2024.10

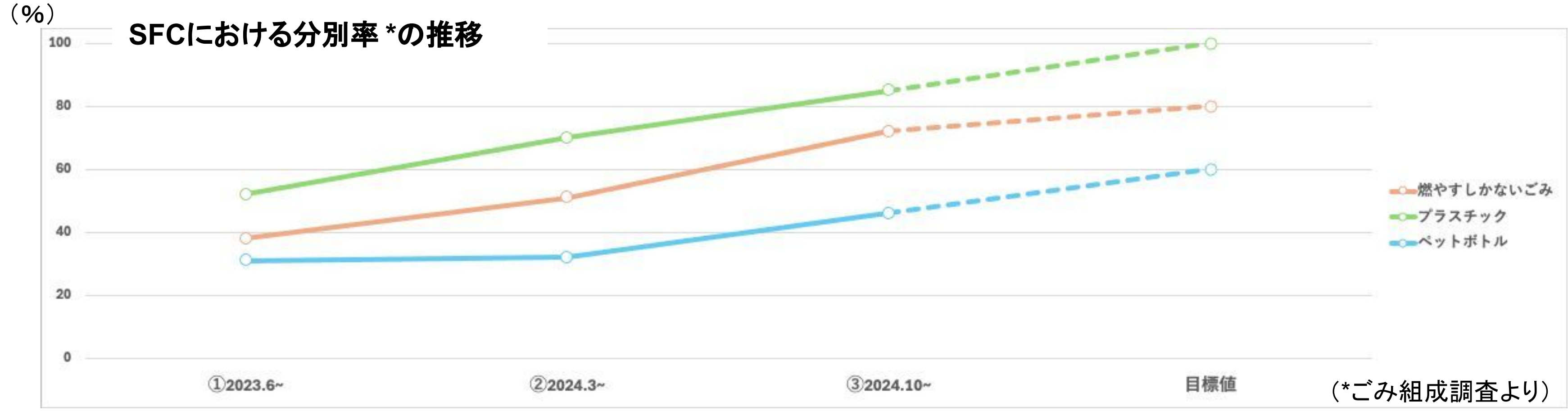
①旧型ごみ箱

②金属製ごみステーションの導入

③ごみ箱周りでの啓発活動

ポスター

分別辞典



（*ごみ組成調査より）

②バイオマス

取組：炭焼きによる炭素固定
背景：大量産業廃棄物や管理不足による森林後退
目的：SFCの緑を持続的に管理する

Before

After

③農と地域

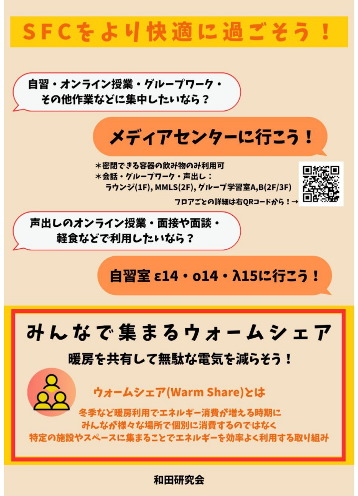
取組：キャンパス内農業の実施
背景：土地が有効利用できていなかった
目的：土地の有効利用＆バイオマス班との連携

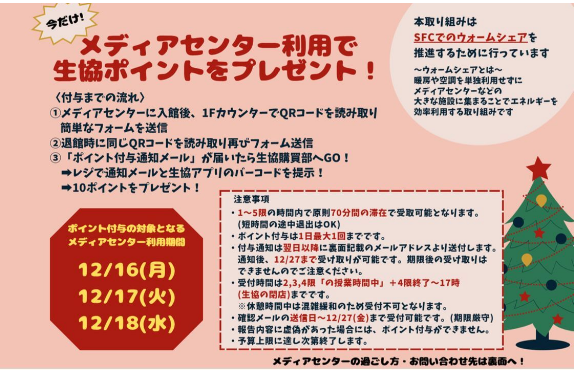
↓ジャガイモ栽培
（3月上旬）

炭を畑に利用しています！

④省エネ

取組：各教室へのポスターの設置
背景：空き教室などの無駄な電力の使用
目的：キャンパス内の電力使用量削減
展望：太陽光パネルの設置＆営農型農業の検討





⑤ベジリタ

取組：ベジタリアンメニューの販売
　　リターナブル容器の利用促進
背景：学内にベジタリアンのメニューがない
目的：誰でも食べられる＆環境負荷のかからない
　　食の選択肢の提供

ここがすごい、団体の特徴3つ

①キャンパスや地域の課題を見つけ、圧倒的な行動力で解決を目指す姿勢

②多様なバックグラウンドをもつメンバーから生まれる奇抜なアイディア

③チームの垣根を超えた連携（畑 ✖️バイオマス✖️省エネetc,）

企業の皆さんと一緒にやりたいこと・メッセージ

キャンパス内外での取り組みをさらに促進していくために

お力添えいただけると幸いです 🌱